

モニタリング調査結果

種名 : エビネ

調査者 : NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地 : 古淵

調査期間	気づいたこと
2018年4月 ~2018年5月	生育地は斜面上部に4か所ある。今年の花茎数は、①0茎、②1茎、③2茎、④1茎の合計4茎だった。昨年は合計で22茎あり、今年は激減した。
2019年4月 ~2019年5月	斜面上部の4か所の生育地の花茎数は、それぞれ①3茎、②2茎、③0茎、④2茎の合計7茎。昨年は激減したが、今年は少しばかり増加した。
2020年4月 ~2020年5月	斜面上部の4か所の生育地の花茎数は、それぞれ①1茎、②2茎、③1茎、④2茎の合計6茎で、昨年と同程度。あらたに⑤の生育地を発見したが葉のみで開花茎はなかった。今後も新たな場所で発葉がないか注意深く観察する。
2021年4月 ~2021年5月	斜面上部の4か所の生育地の花茎数は、それぞれ①8茎、②6茎、③8茎、④7茎、新しく発見した株⑤0茎で合計29茎。昨年より大幅増。実ができていたので他の場所に発芽はないか注意してみる。
2022年4月 ~2022年5月	1か所増えて5箇所となった。手前からa,b,c,d、新しく見つかった株をeとすると、花茎数はa8、b10、c2、d5、e1で、花茎総数26は昨年(29)並み。
2023年4月 ~2023年5月	花茎数はa6、b4、c1、d3、e0で、花茎総数14は昨年(26)の約半分。
2024年4月 ~2024年5月	4箇所あり手前からa,b,c,d、新しく見つかった株をeとすると、花茎数はa12、b8、c4、d5、e0で、花茎総数29は昨年(14)の約2倍。2022年と同程度で経年変化の範囲内と思われる。隣地の開発により光条件が変わるので注意深く見守る。
2025年4月 ~2025年5月	4箇所あり手前からa,b,c,d、新しく見つかった株をeとすると、花茎数はa13、b10、c5、d9、e0で、花茎総数37は昨年(29)より増加。2016年(35)と同程度だが最高数を更新した。隣地の開発により光条件が変わるので注意深く見守る